

愛媛県信用漁業協同組合連合会 えひめ水産業WEBセミナー

# テーマ:SDGsによる持続可能な 漁業の実現について

---

令和4年4月19日

中小企業診断士

濱田 悠介

# 自己紹介

---

濱田 悠介(はまだ ゆうすけ)  
1983年(昭和58年) 愛南町生まれ

**【資格】**

中小企業診断士(企業内診断士)

愛媛県中小企業診断士協会理事



# 本日の内容

---

1. SDGsの全体像を掴む
2. 漁業と関わりの深いテーマを知る
3. SDGsをビジネスに繋げるには
4. ビジネスに繋がった事例紹介

---

# 1. SDGsの全体像を掴む

---

# SDGsとは

---

SDGs : Sustainable Development Goals

→持続可能な開発目標



MDGsの後継

2015年9月国連サミットで採択

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際指標

# 5つのP→17のゴール→169のターゲット

---

- People (人間)
- Prosperity (豊かさ)
- Planet (地球)
- Peace (平和)
- Partnership (パートナーシップ)

# PEOPLE (人間)

---

あらゆる形態の貧困と飢餓に終止符を打ち、尊厳と平等を確保する



# Prosperity (豊かさ)

---

自然と調和した、豊かで充実した生活を確保する





# Planet (地球)

---

将来の世代のために、地球の天然資源と気候を守る



# Peace (平和)

---

平和で公正、かつ包括的な社会を育てる



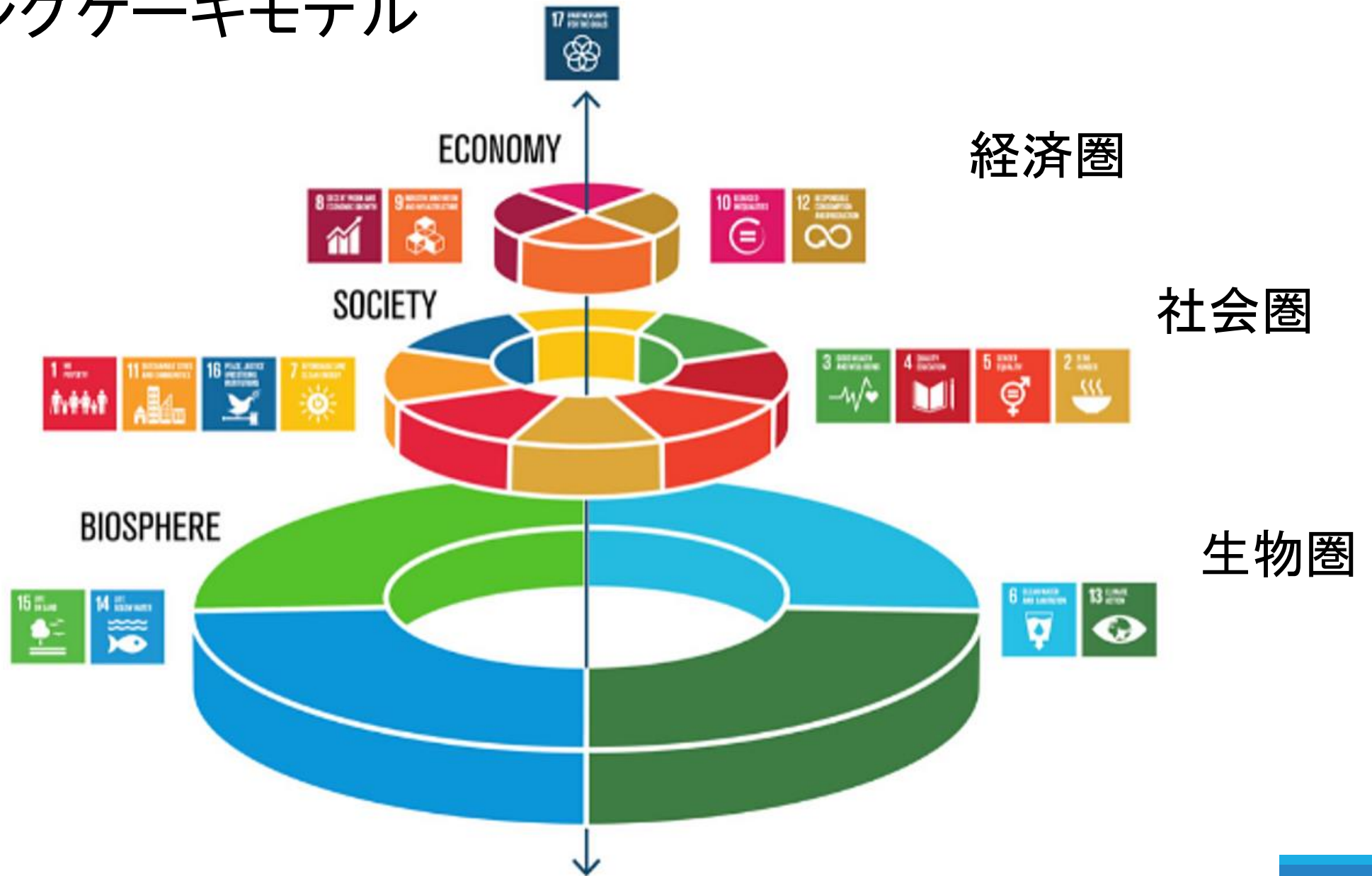
# Partnership (パートナーシップ)

---

確かなグローバル・パートナーシップを通じアジェンダを実施する



# ウェディングケーキモデル



# SDGsの特徴

---

- 地球規模、世界規模の話と身近な一步を繋げる
- 将来の持続性
  - 「四方よし」＝「売り手よし、買い手よし、世間よし、未来よし」にも通づる
- どのような立場でも参画でき、共通言語となる
- 持続性＝経済活動との両立
- できることから始める

---

## 2. 漁業と関わりりの深いテーマを知る

---

# 目標14: 海の豊かさを守ろう

---

- 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な方法で利用する



- 海洋汚染の防止
- 水産資源を持続可能に

# 事実と数字（海洋の大切さ）

---

- 地球上の水の97%を蓄え、生息空間の99%を占める
- 確認できるだけで20万種の生物種
- 二酸化炭素の約30%を吸収

参考：国際連合広報センター／持続可能な開発目標（SDGs）－事実と数字  
[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/31591/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31591/)



# 事実と数字（人の営みと海洋）

---

- 生計を立てている人々は30億人を超える。
- 資源と産業の市場価値：年間3兆ドル、GDP5%
- 主たるたんぱく源としている人々は約30億人
- 2億人以上の雇用を生んでいる

参考：国際連合広報センター／持続可能な開発目標（SDGs）－事実と数字  
[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/31591/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31591/)

# 事実と数字（抱える課題）

---

- 沿岸水域の富栄養化
  - 協調的な取り組みなしには2050年までに20%進む
- 酸性化
  - 産業革命開始から現在まで26%の水準で上昇
- IUUに繋がる過剰な補助金
  - 漁業収益は年間500億米ドル目減り

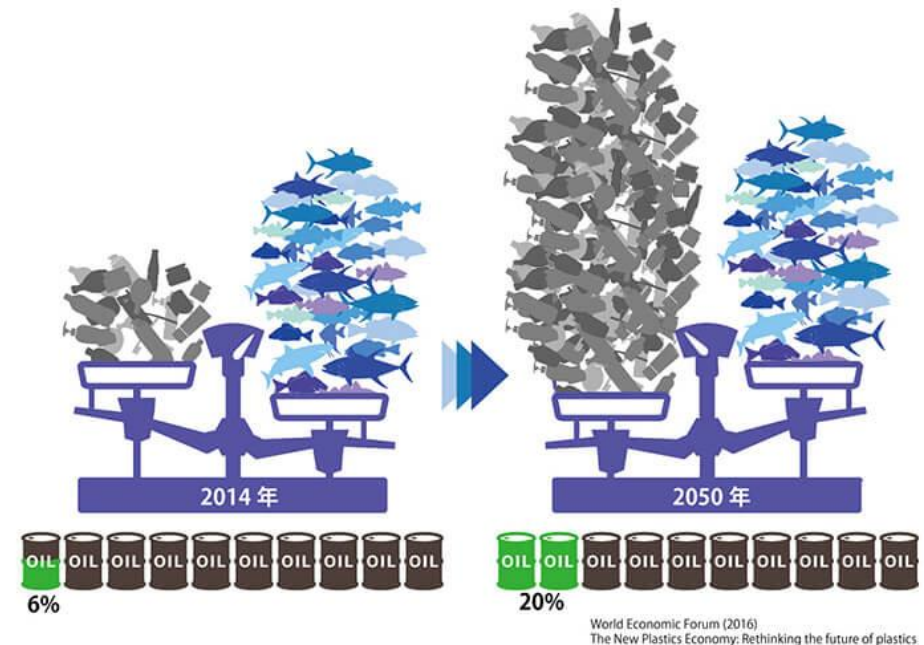
IUU漁業  
Illegal = 違法  
Unreported = 無報告  
Unregulated = 無規制  
の頭文字

参考：国際連合広報センター／持続可能な開発目標（SDGs）－事実と数字  
[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/31591/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31591/)

# 海洋汚染の防止

## 海洋プラスチック問題

- ・年間推定800万tの流入  
(ジェット機5万機分)
- ・産業への直接・間接影響  
漁業・養殖業年間3.6億ドル
- ・「2050年には海洋プラスチックごみの  
量が海にいる魚を上回る」  
とされている。



引用: WWF / 海洋プラスチック問題について  
<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3776.html>

# 海洋汚染の防止

## ゴーストギア

- ・海洋プラスチックごみの少なくとも10%が漁業用ロープ・漁網・仕掛けと推定されている。
- ・生分解性プラスチックでの漁具の製品開発  
逸失、投棄、破棄の低減にむけ  
関係団体が連携して取り組み



参考: WWF JAPAN 深刻な海洋プラスチック問題の原因「ゴーストギア」を無くそう!

<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4452.html>

# 持続可能な漁業に対する認証制度

## MSC認証・ACS認証

- 水産資源や環境に配慮し、適切に管理された持続可能な漁業に関する認証
- 漁業を対象とするMSC漁業認証と流通加工を対象とするMSC CoC認証がある
- ACS認証は養殖業に対する認証制度



Marine Stewardship Council  
<https://www.msc.org/jp>

# 持続可能な漁業に対する認証制度

## MEL認証

- ・日本の漁業の特性を考慮した認証制度
- ・「GSSI」より国際的にも承認
- ・流通加工事業者への認証 (CoC) も必要とする
- ・イベント、ワークショップの開催  
販促事例の調査・公表なども実施

2021年11月1日時点  
漁業認証: 11事業者、養殖認証: 50事業者  
流通加工段階 (CoC) 認証: 87事業者



参考: マリン・エコラベル・ジャパン認証実績一覧

[https://www.melj.jp/wp-content/uploads/2020/09/MEL\\_Certified-entities\\_20200904\\_ja.pdf](https://www.melj.jp/wp-content/uploads/2020/09/MEL_Certified-entities_20200904_ja.pdf)

# 認証普及の現状

---

- 2020年1月から3月消費者の認知度調査：19%  
（調査23カ国での平均は46%）
- 日本での登録製品数：900品目以上
- MSC CoC認証取得業者300社超以上  
→2018年～2020年の3年間で160社以上

PRTIMES：MSC認証水産物を扱うMSC CoC認証取得事業者数が日本国内で300社を超えました  
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000019.000059178.html>

# 普及を図る小売業

## イオングループ



MSC「海のエコラベル」  
/ASCラベル

水産資源の未来と環境保全に向けて  
自然の貴重な恵みと適正な養殖活動を守る  
世界基準の2つのエコラベル

海のエコラベル  
持続可能な漁業で獲られた  
水産物  
MSC認証  
www.msc.org/jp

責任ある養殖により  
生産された水産物  
ASC  
ASC-AQUA.ORG

適切に管理された漁業や養殖業で  
生産された水産物の証です

引用:TOPVALU:MSC「海のエコラベル」/ASCラベル  
<https://www.topvalu.net/brand/kodawari/csr/mscasc/>

## CO-OP(日本生協連)

コープ商品の取り組み

 <p>海のエコラベル 持続可能な漁業で獲られた 水産物 MSC認証 www.msc.org/jp</p>	認証マーク MSC認証 持続可能な漁業に向けた取り組み	>	 <p>責任ある養殖により 生産された水産物 ASC ASC-AQUA.ORG</p>	認証マーク ASC認証 責任ある養殖により生産された 水産物	>
 <p>BAP CERTIFIED</p>	認証マーク BAP認証 持続可能で責任のある養殖水産物を 届けるために	>	 <p>www.mel.jp MSC-COOP</p>	認証マーク MEL認証 水産資源と海にやさしい漁業を応援	>

引用:コープ商品のエシカル消費とは  
<https://goods.jccu.coop/ethical/>



---

## 3. SDGsをビジネスに繋げるには

---

# 「指標」から市場の変化を読む

---

MSC認証の認知度が「国内19%」という現状



まだ取得に動く動機には  
なり難い？  
MEL認証は県内企業でも  
動きがあるな...

では、この指標が何%になったらどのような動きをするべきか？  
あらかじめ考えを巡らせて、指標を追跡しておけば機敏に対応できる

# 「普及」活動を消費者接点にする

例えば、海岸清掃活動など関連イベントを絡めて、  
漁業・水産業の実情を知ってもらう場にする



せっかく学ぶ機会が  
あったのだから  
地元の魚も買ってみよう

生産者と消費者 → 一緒に海の課題を考えるパートナー  
という関係を構築できれば消費行動が変わってくる

# 「共通言語」を活かし産学・企業間連携

- ・SDGs宣言の有無、SDGs関連セミナーへの参加などから、その団体のSDGsへの「関心度」が分かる



前の人、以前の  
セミナーでもみかけたな

関心のある団体に働きかける際にSDGsの流れにそった活動であれば連携のハードルがぐっと下がる

# 規制リスクを予測し備える

---

- プラスチックは「レジ袋有料化」の規制が入った  
→ ゴーストギアは今後、規制の争点にならないか？
- 漁業に直接的な補助金が乏しいのはIUU漁業に対する懸念もある？

→ IUU漁業の撲滅を目指す方向性ならば行政支援を得られるかも？

SDGsに関連する知見を種に自分なりの考察をいれながら、  
業界動向の情報収集・関係者とのコミュニケーション

---

## 4. ビジネスに繋がった事例紹介

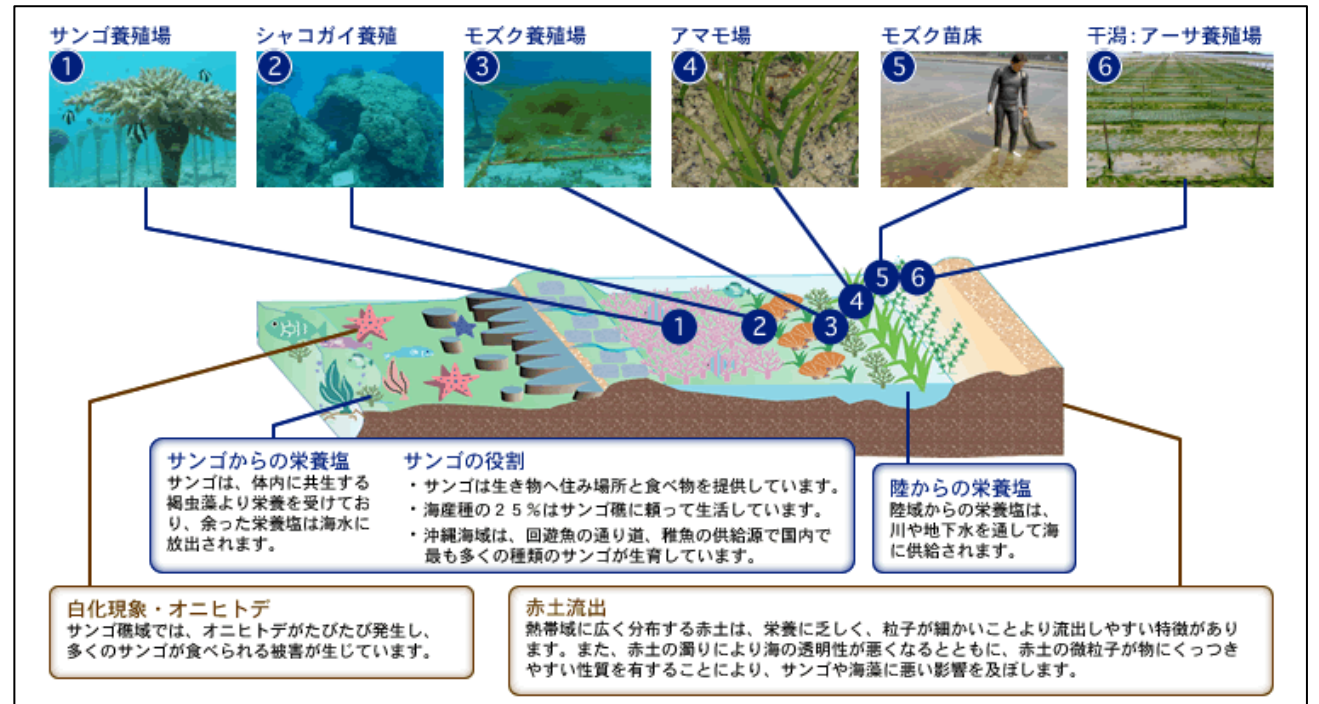
---

# 事例1：沖縄県恩納村 もずく基金

## 海水温上昇によるサンゴの死滅に端を発する、もずく養殖の危機

商品売上の一部を基金とする活動  
消費者に危機の実態を率直に  
伝えて協力を求める

→課題解決のパートナーとして  
参画してもらう



コープCSネット：もずく基金 <https://www.csnet.coop/mozuku/>

# 事例2: ニッスイ 体感イベント実施

CSR推進テーマに  
連動させた体感  
イベントを実施

	活動名称	テーマ	実施場所	実施日	対象者
食品ロス	ウォーク・ザ・ワールド 	食を考える (飢餓)	横浜 大阪 	5/12 5/26	従業員と家族
食品ロス	缶切り部 	家庭の 食品ロスを考える	東京 八戸 	10/12 2/29	消費者 従業員
食品ロス	宴会料理 食べきり企画 	食品ロスを考える	全国 	2019 未定	従業員
健康経営	EPA/AA比 健康番付 	健康経営	全国	番付 未	従業員
健康経営	健康+ストレージ キャンペーン 	健康経営 生活習慣改善	全国	4~7月	従業員
人材育成	子ども参観日 社内見学と科学実験 	職場を体験 海洋環境保全	本社 	7/26	従業員 親子
人材育成	出張授業 	キャリア教育 働くとは?を伝える	都内 小中学校 	7/13 8/29 10/10 11/19	小中学生

引用: ニッスイグループにおけるSDGsの取り組み

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sdgs/seminar/attach/pdf/index-22.pdf>



# 県内の取り組み

---

- 県：愛媛県SDGs推進企業登録制度
- 県：Ehime Food Innovation コンソーシアム  
参画会員：愛媛県信漁連
- 水産関連企業・団体のSDGs宣言
  - 愛媛海産、久良漁協、愛南漁協
- 小売：コープえひめが取り組むSDGs
- その他：いよぎんSDGs診断サービス（SDGs宣言策定サポート）

# 本日のまとめ

---

1. SDGsの全体像、テーマ：海の豊かさを守ろうについて概要を説明
2. SDGs関連指標をモニタリングして、行動指針に消費者・各団体とのコミュニケーションツールとして

SDGsの取り組みに答えは用意されていない、  
現状を「知って」どう感じるか、どう動くか？

---

ご清聴ありがとうございました。

---